



関西国際空港における 航空機事故消火救難総合訓練の実施について

関西エアポート株式会社は、10月19日（木）、関西国際空港において、航空機事故消火救難総合訓練を実施いたします。

この訓練は、関西国際空港緊急計画に基づき毎年実施している当空港内最大の消火救難総合訓練です。航空機事故が発生した場合を想定して、関係機関との緊密な連携と協力による迅速かつ適切な消火救難と災害医療活動訓練を行います。

訓練を通して、航空機火災や多数の負傷者が発生した場合の各機関の連携体制を整理し、役割分担の明確化を図るとともに、相互の連携強化と早期の救助体制確立を目的としています。

関西エアポート株式会社は、引き続きお客様の旅を支える安全の確保と、空港を安心して利用いただく環境づくりを進めてまいります。

- 日 時：2017年10月19日（木）13:30～16:00
- 場 所：（1）関西国際空港内メンテナンスエリア（実動訓練）
（2）大阪航空局関西空港事務所5階（航空機事故総合対策本部）
- 主 催：関西国際空港緊急計画連絡協議会
- 実機提供：Peach Aviation 株式会社
- 参加機関：74 機関
（関西エアポート株式会社、新関西国際空港株式会社、国土交通省大阪航空局関西空港事務所、関西空港海上保安航空基地、警察・消防・医療の各関係機関他）
- 参加人数：約 750 名
- 訓練内容：（想定状況）A 滑走路中心付近で国内線到着機による事故が発生し、航空機火災および多数の負傷者が発生。
 - （1）事故通報、情報伝達訓練
 - （2）緊急レーン設置訓練
 - （3）消火活動訓練
 - （4）トリアージ地区・救護地区の設置訓練
 - （5）避難誘導、負傷者救助、担架搬送訓練
 - （6）トリアージ活動等災害医療活動訓練
 - （7）負傷者救急搬送訓練【ヘリコプター、救急車搬送】
 - （8）遺体の身元確認訓練
 - （9）現地調整本部の活動訓練
 - （10）航空事故総合対策本部の活動訓練



昨年実施した訓練の様子

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
コーポレートコミュニケーション部
Tel : 072-455-2201

Shaping a New Journey



関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ：www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、35空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス13空港、ポルトガル10空港（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア3空港、日本2空港、ドミニカ共和国6空港、そしてチリのサンチャゴ空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2016年の旅客者数は1億3,200万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万1,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。2016年の連結売上高は10億5,000万ユーロに達します。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構